

## 平成 24 (2012) 年度活動報告書

### (1) 平成 24 年度年次総会開催の件

平成 24 年 6 月 23 日 (土)、明治大学 (東京・駿河台) に於いて平成 24 年度年次総会を開催した。

総会出席会員数 53 名、委任状 118 名

(議決人員 171 名 / 会員総数 454 名)

総会議題

議題 1. 平成 23 年度学会活動状況報告の件 (案)

議題 2. 平成 23 年度学会決算報告の件 (案)

議題 3. 監査報告の件

議題 4. 平成 24 年度学会活動計画審議の件 (案)

議題 5. 平成 24 年度学会予算審議の件 (案)

議題 6. 会則の変更に関する事項の件 (案)

上記が審議され、原案通り決定された。

### (2) 理事会開催の件

学会の業務運営に関する重要事項を審議決定する為、理事会を下記のごとく開催した。

(平成 24 年)

第 129 回理事会	4 月 21 日 (土)	平成 24 年度年次総会開催準備の件、他
第 130 回理事会	7 月 21 日 (土)	第 5 回経営倫理シンポジウムの件、他
第 131 回理事会	9 月 29 日 (土)	20 周年記念関連行事の件、他
第 132 回理事会	12 月 15 日 (土)	公募論文取り扱いについての件、他

(平成 25 年)

第 133 回理事会	3 月 23 日 (土)	新年度の運営についての件、他
------------	--------------	----------------

### (3) 研究発表大会開催の件

第 20 回研究発表大会を平成 24 年 6 月 23 日(土)-24 日 (日) 明治大学 (東京・駿河台) において開催した。前年度に引き続き

二日間にわたっての開催であった。統一論題『経営の質・倫理と CSR』については当学会より依頼した有識者による統一論題

シンポジウムと 3 本の研究発表を行った。

また自由論題 25 本の研究発表を終日 4 会場に分けて行った。加えて特別セッションとして「東日本大震災と経営倫理・社会的責任」

をテーマに、各研究部会による代表者の研究報告の後、パネルディスカッションを行った。

明治大学からは開催にあたりご支援いただいた。

#### (4) 研究交流例会等開催の件

学会員の研究情報の交流と学会活動の理解を深める交流例会を前年度に引き続き下記のごとく開催した。なお研究交流例会は

2本立てとし、若手研究者等からの研究報告があった。

##### \* 第 77 回研究交流例会（平成 24 年 7 月 21 日）

##### 1. 「民主党資本市場・企業統治改革ワーキングチームによる改革案について」

民主党資本市場・企業統治改革ワーキングチーム事務局長 網屋信介氏

##### 2. 「国際規格 ISO26000 と CSR 経営

～ISO26000 から JISZ26000 の制定・公布へ～

前日本経営倫理学会副会長・東京交通短期大学学長 田中宏司 氏

##### \* 第 78 回研究交流例会（平成 24 年 9 月 29 日）

##### 1. 「ヨーロッパにおける企業倫理と CSR」 創価大学教授 ドボルー・フィリップ 氏

##### 2. 「CSR（社会的企業責任）から CR（企業責任）へ

～欧州の CSR 事情の最前線と CSR 評価の再考」

電力中央研究所社会経済研究所上席研究員 蟻生俊夫 氏

##### \* 第 79 回研究交流例会（平成 24 年 12 月 15 日）

##### 1. 「経営倫理学におけるカント哲学の現代的意義～社会哲学の視点から」

一橋大学大学院博士（学術） 新川信洋 氏

##### 2. 「ワーク・ライフ・バランス：日本の働く女性の現状から」 白鷗大学教授 堀真由美 氏

##### \* 第 80 回研究交流例会（平成 25 年 3 月 23 日）

##### 1. 「討議プログラムは道德教育（学校）とビジネス倫理教育（企業）をつなぐのか？：

青年の規範の理解を対象として」

鎌倉女子大学講師・東京工業大学非常勤講師 藤澤 文 氏

##### 2. 「消費者教育推進法における「消費者市民社会」の導入は消費者政策や

消費者団体の活動にどのような変化をもたらすか」

日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会消費生活研究所研究員 古谷由紀子氏

#### (5) 研究部会活動報告の件

各研究部会の登録メンバー、研究活動報告および今後の計画に関し別紙 1 にて報告。

部会長および登録メンバー数（平成 25 年 3 月末現在）。

##### 1. 理念・哲学研究部会

部会長：宇佐神 正明 氏 登録メンバー数：19 名

##### 2. 企業行動研究部会

部会長：小坂 勝昭 氏 登録メンバー数：62名

### 3. 監査・ガバナンス研究部会

部会長：山脇 徹 氏 登録メンバー数：16名

### 4. 実証調査研究部会

部会長：福永 晶彦 氏 登録メンバー数：11名

### 5. CSR 研究部会

部会長：水尾 順一 氏 登録メンバー数：66名

### 6. 経営倫理教育研究部会

部会長：梅津 光弘 氏 登録メンバー数：27名

#### (6) 地方組織活動の件

関西および中部各地区研究部会の登録メンバー、研究活動報告および今後の計画に関し別紙1にて報告。

研究部会長、参加数および登録メンバー数（平成25年3月末現在）。

#### (I) 関西地区研究部会

部会長：吉川 吉衛 氏 参加数：約25名

#### (II) 中部地区研究部会

部会長：堀田 友三郎 氏 登録メンバー数：28名

#### (7) 学会報発行の件

学会の活動状況伝達のため、学会報No.58第61号（平成24年7月25日発行）、No.59第62号（平成24年11月30日発行）、

No.60第63号（平成25年3月5日発行）を夫々発行し会員各位に配布した。

#### (8) 学会誌発刊の件

明治大学で開催された第20回研究発表大会での発表を中心に、論文22本および研究ノート1本からなる

『日本経営倫理学会誌第20号』を平成25年2月に発刊した。

#### (9) 国際交流推進の件

平成23年度に引き続き、米国SBE年次大会への参加等国際交流活動を一層促進した。

\* 詳細は→ 。

#### (10) 第5回経営倫理シンポジウム開催の件

当学会およびBERC共催の第5回経営倫理シンポジウムを平成24年11月21日、国際文化会館岩崎小弥太記念ホール

（東京・六本木）において開催した。当日は「企業不祥事と経営責任～今求められるコンプライアンスとコーポレート

ガバナンス～」をテーマに基調講演

(明治大学出見世信之教授・当学会会員)の後、当学会常任理事で本シンポジウムの実行委員長水尾順一(駿河台大学教授)をコーディネーターとしたパネルディスカッションが行なわれた。パネリストは出見世信之氏、樋口晴彦氏(当学会会員、警察大学校教授)、橘・フクシマ・咲江氏(G & S Global Advisors 代表取締役)、佐野廣二氏(横河フィールドエンジニアリングシステム(株)常勤監査役)。150名弱の参加者があり、終日、熱心な講演と活発な議論が行なわれた。

(11) 年会費自動振替への移行の件

平成22年度より、会員の年会費の支払忘れや事務局の年会費請求作業軽減のため自動振替制度を導入し、会員へは引き続き自動振替への切替を随時お願いしている。

以上

(上記は、2013年6月15日(土)13:00~14:00白鷗大学東キャンパス2階201教室にて開催された2013年度会員総会において原案通り可決された)